

サンエールかごしま（テーマ：「教育」）での 「市長とふれあいトーク」発言に対する検討結果等

〔開催概要〕

日時：平成20年9月30日（火） 19:00～20:00

場所：サンエールかごしま

※ 平成20年度のグループ申込型の3回目として開催（教育）

平成20年11月
鹿児島市 市民参画推進課

「市長とふれあいトーク」(教育) 発言に対する処理方針

日時：平成20年9月30日(火) 19:00~20:00
場所：サンエールかごしま

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	鶴垣鹿維 女性	<p>かつては、薩摩義士の偉業を中学校の道徳の副読本などで扱っていたと思うが、現在教育実習で学校現場に行ってみると取り扱っていない。クラスでアンケートをしてみると、義士について知っていたのは32名中、1名のみだった。</p> <p>義士について教えたところ、知ることができて良かった、思いやり、感謝を学んだ、など肯定的な感想が多かった。</p> <p>今後は、小中学校の道徳の時間に積極的に取り扱ってほしい。</p>	<p>今のお話によると薩摩義士の偉業については、鹿児島県の児童・生徒の皆さんにはあまり普及していないようです。木曾三川の流域で宝暦治水の恩恵を受けた方々は現在でも「報恩感謝」という言葉とともに偉業を称え、受け継いでいるようです。</p> <p>鹿児島県では小学校6年の道徳で平田靱負(ひらた ゆきえ)を取り扱っているようですが、薩摩義士慰霊祭参加者は少ないという現状もありますので、小・中学校の学年を問わず機会あるごとに偉業を伝えていけたらと思います。</p> <p>お話は教育委員会にも伝えます。</p>	教育委員会	<p>平田靱負は鹿児島市が輩出した歴史上の偉大な人物であり、没後250年を経た今でも、岐阜の方々は報恩感謝の気持ちを持ち続け、大垣市と鹿児島市の中学生は毎年交流を行っています。</p> <p>現在、本市小学校78校中47校(約60%)が、「道徳の時間」の年間指導計画に、平田靱負を主人公とする資料(学研「みんなの道徳・鹿児島県版 6年」資料名『大水とたたかう』)を使った指導内容を位置付けています。また、中学校においても、本市39校中5校(13%)が小学校と同様に位置付けています(学研「中学生の道徳・鹿児島県版 2年」資料名『油島の千本松原』)。</p> <p>今後とも、平田靱負をはじめとする薩摩義士が成し遂げた偉業の詳しい内容について、各学校の「道徳の時間」、社会科や総合的な学習の時間等の中で取り上げ、子どもたちにその偉業を学ばせることで、そのことを誇りに思う子どもを育成していきたいと考えております。</p>
2	ジュニアリーダークラブ「コアラ」 女性	<p>今日に向けて、市政について勉強したところ、「新・郷中教育」という制度に興味を持った。</p> <p>どのような内容なのだろうか。</p>	<p>現代の学校教育では同じ学年同士で学び、成長していく一方で異年齢で学び、交わることが少なくなっています。「新・郷中教育推進事業」は、かつての郷中教育を参考に異年齢の交流を深めてほしいという狙いのもとに松原小、城南小、武岡小、伊敷小、宮川小の5校で、余裕教室を使って月曜日から金曜日の放課後や、第2土曜日の午前中に、小学4年生から6年生までの異年齢の子どもたちが、お互い助け合いながら、勉強やスポーツ、体験活動に取り組む事業です。</p> <p>今後は、小学生だけでなく、中・高校生や大学生、さらに地域住民の皆さんなど多くの人々との交流へ広げていければという思いもあります。</p>	教育委員会	<p>「新・郷中教育推進事業」は、今年の9月から松原小学校など5校をモデル校として始めた事業であり、その事業内容は「市長とのふれあいトーク」時に市長が回答したとおりです。今後は加入者増につながる広報啓発を進め、地域の方々の協力を得て、異年齢集団の良さをいかに活動内容を工夫していきたいと考えています。</p>

「市長とふれあいトーク」(教育) 発言に対する処理方針

日時：平成20年9月30日(火) 19:00~20:00

場所：サンエールかごしま

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	ジュニアリーダークラブ「コアラ」 女性	<p>学校でもっとボランティア活動を広めてほしい。例えば、私の在学している武岡台高校ではボランティア活動推進に積極的に取り組んでいるが、他の高校の取り組みには差が見られる。市のボランティアの案内は、県立高ではチラシを掲示する程度である。</p> <p>県立や市立、私立を問わず、先生方にはボランティア活動に関わりたく思っている生徒をもっと積極的にサポートしてほしい。</p>	<p>勉強や部活動との両立を図りながら、日頃からボランティア活動にがんばっている姿に感謝します。また、皆さんがボランティア活動で得た経験、知識は個人にとって大きな財産になると思います。</p> <p>これまでも関係課と高校が連携を深めながら、ボランティア活動についてはご協力をお願いするようにしていますが、高校時代は就職や進学を控えた大切な時期でもありますので、先生方も勉強等に支障のない範囲での活動になるよう配慮していると思います。</p> <p>市立高は市教育委員会に、県立高・私立高については県教育委員会にボランティア活動への積極的な協力を改めてお願いしたいと思います。</p>	教育委員会	<p>市教育委員会では、皆さんの活動をサポートしていきたいと考えています。県教育委員会や各学校と連携を行い、学校生活に支障のない範囲でボランティア活動への協力をお願いしたいと思います。</p>
4	シニアリーダークラブ「とまと」 男性	<p>いわゆる「ゆとり教育」による授業時間数の減と教科書の内容の減の結果、子どもの応用力の低下が見られるのではないかと。</p> <p>これに対する対策はとられているのか。</p>	<p>本市においては、全国学力・学習状況調査の結果からも児童生徒の学力が低下しているとは考えていないところであり、ゆとり教育をすすめた結果、学力が低下しているかどうかについては、現時点においては一概に申し上げられないところです。</p> <p>新学習指導要領が平成20年3月に告示され、授業時数は小学校、中学校とも現在より増加し、また、指導内容もそれに伴い増える部分もあると聞いております。</p> <p>今後、新しい学習指導要領のもとで、応用力・判断力・表現力を高める授業が推進され、学力の向上に向けての取り組みが進むものと考えております。</p>	教育委員会	<p>全国学力・学習状況調査結果等を総合的にみると、本市の児童生徒の学力が低下しているとは考えていないところです。</p> <p>新学習指導要領が平成20年3月に告示され、授業時数は小学校、中学校とも現在より増加し、また、指導内容もそれに伴い増える部分もあります。更に、平成21年度から、移行措置に伴い、算数・理科等の授業時数を増加させ、先行実施します。市教育委員会としましても、これらの状況を踏まえながら基礎的な知識・技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育むことを目指していきます。</p> <p>具体的には、新学習指導要領の理念や学校教育法を踏まえた「確かな学力」の育成を学校教育の重点課題とし、校内研修への積極的な指導主事派遣や、市学校教育研究大会、市小・中連携研修会、研究協力校等の委嘱、全国学力・学習状況調査や「基礎・基本」定着度調査等の結果をもとにした校長会・教頭会等の各種研修会での指導等を行っているところです。今後もこのような施策を一層充実していくこととしています。</p>

「市長とふれあいトーク」(教育) 発言に対する処理方針

日時：平成20年9月30日(火) 19:00~20:00
場所：サンエールかごしま

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	鶴垣鹿維 男性	市が行う、大垣市や鶴岡市との交流事業等の青少年団体リーダー国内研修を、本団体が企画することはできないか。鹿児島県では、同様の研修会においては、参加したOBの方々に、企画・運営を委託し、実施している例もあると伺っている。	皆さん方の活動で鶴岡・大垣との交流が深まっており、感謝申し上げます。「青少年リーダー研修」は現在、市が予算を確保し主体となって実施していますが、皆さんが主体として活動し、そこへ市が補助をするという形もありうるのではないかと考えております。 ご意見については教育委員会に伝え、鹿児島県の取り組みについても調査してみたいと思います。	教育委員会	「青少年団体リーダー国内研修」につきましては、より一層充実したものとなるように、企画・運営のあり方について県教育委員会の取り組みなどを参考に研究してまいりたいと考えています。
6	ジュニアリーダークラブ「コアラ」 男性	生徒会活動の中で、ボランティア活動に積極的に取り組んでいこうと話し合い、いろんな取り組みをやるうと思っけていても、先生たちの中にはこれは良い、これは悪いといった線引きがあるように思う。 私たちが学校の先生を通さずに直接、市や県の教育委員会と話し合ったりすることはできるのだろうか。	ボランティア活動について生徒の皆さんにとって適当か、適当でないかは、社会規範に則ってまずは学校が判断していることと思います。もし学校で判断が困難な場合、教育委員会にも相談の上、判断しているはずで ボランティア活動や社会貢献活動自体は大変素晴らしいことですが、高校時代は就職や進学を控えた大切な時期でもありますので、先生方も勉強等に支障のない範囲での活動になるよう配慮していると思いますので、まずは学校に相談していただきたいと思います。	教育委員会	ボランティアとして様々な取り組みをしようという気持ちは大切なことですが、それが高校生としての活動としてふさわしいかどうかは、まず学校の先生と十分話し合うことが大切であると考えています。

「市長とふれあいトーク」(教育) 発言に対する処理方針

日時：平成20年9月30日(火) 19:00~20:00
場所：サンエールかごしま

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	シニアリーダークラブ 「とまと」 女性	<p>学生時代はボランティア活動する機会は多かったが、社会人になるとその機会が少なくなったように思う。「とまと」の活動は主として「コアラ」の手伝いなど市の補助に留まっていて、自ら活動を企画して行うことが少ない。</p> <p>社会人向けのボランティア講座の開催やわたしたちが企画した活動の実施を市のほうにお願いできるのか。</p>	<p>皆さんが企画を立てて提案いただければ、NPOやボランティア団体といった市民活動団体を対象に審査の上、その活動に市として補助金を出す「市民とつくる協働のまち事業」という制度を利用できます。また、同じような制度は県にもあります。</p> <p>なお他にどのようなボランティア活動団体があるかについては、市社会福祉協議会のボランティアセンターをお尋ねください。NPO法人に関しては市民参画推進課に尋ねていただければと思います。</p>	市民局 健康福祉局	<p>「市民とつくる協働のまち事業」は公共的なサービスを提供するNPOやボランティア団体などの市民グループの活動に対して、事業計画書等を提出いただき、選考のうえ経費の一部を助成する事業です。</p> <p>20年度の募集は既に終了しましたが、来年度以降も募集を行う際は市民のひろばや各種広報でお知らせいたしますので、ぜひご活用ください。</p> <p>なお、市内に事業所のあるNPO法人については、市のホームページに「NPOネット」を掲載し、各NPO法人の設置目的や事業内容について紹介しておりますので、ご覧ください。</p> <p>また市社会福祉協議会が運営しております鹿児島市ボランティアセンターでは、一般向けのボランティア入門講座やボランティア出前講座を実施し、コーディネーターによる講話や受講者による体験発表、ボランティアセンターの見学、車椅子乗車体験などを行っておりますので、ご活用いただきたいと思います。</p>
8	シニアリーダークラブ 「とまと」 女性	<p>ジュニアリーダークラブの卒業生でもあるのだが、若者のボランティア活動の研修の機会が年々減ってきているように思う。</p> <p>九州内のシニアリーダー研修も宿泊を含んでいたものが日帰りの単発の研修に変更されたり、市の研修事業でも各あいご会、スポーツ少年団、ジュニアリーダー初級、中級の研修日数や対象人数の減少が見られる。活動を増やしたいと思っているのに逆に研修機会が減少してきている。</p> <p>経費削減の必要もあるのかもしれないが、市としての対応をお伺いしたい。</p>	<p>若者の皆さんのボランティア活動を尊重することで、地域力もついていくと考えています。「新・郷中教育推進事業」について述べたように異年齢交流は大変重要であり、いまお話のあった研修はそのよい機会ですので、もし研修の機会が減っているのであれば、担当部局にその原因を調べさせたいと思います。</p>	教育委員会	<p>ご指摘のありました研修の中で、市教育委員会主催の「子ども会リーダー研修会」や「ボランティアジュニアリーダー養成セミナー」では、各あいご会や学校からの希望者を募り、研修の機会を設定しており、年々受講者が増えているところです。研修回数を増やした結果、多くの子どもが研修に参加しやすくなったという声をお伺いしております。</p> <p>今後も、リーダーとしての資質を高めるために、研修内容の充実を図り、リーダーの育成に力を入れたいと思います。</p>

「市長とふれあいトーク」(教育) 発言に対する処理方針

日時：平成20年9月30日(火) 19:00~20:00
場所：サンエールかごしま

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	ジュニアリーダークラブ「コアラ」 男性	<p>現在私たち「コアラ」は中学生34名、高校生31名の計65名で活動し、結成されて10年目を迎える。この間ボランティア活動のリーダー育成や市の「少年自然の家」などのボランティアスタッフとして活動を続けており、こうした活動を市民の皆さんに知ってもらい、関心を持っていただければ、よりよい鹿児島市づくりに貢献しているのではと思っています。</p> <p>一方で近年、活動資金が不足しがちになっている現状があるので市の補助金など支援をいただけるとありがたい。</p>	<p>皆さんのボランティア活動は地域の活性化に貢献する素晴らしい活動であり感謝申し上げます。皆さんが大切な時間とお金を使って活動に取り組んでおられるとお聞きし、とても感心しているところです。</p> <p>ひとつの目的に向かい異年齢の人と交流するのはとても大切なことで、皆さんのボランティア活動の輪が広がっていくように何らかの形でサポートできないか、関係の所管課に伝えたいと思います。</p>	健康福祉局 教育委員会	<p>皆さん方には、かねてから幅広い活動に積極的にご協力をいただいております、大変ありがたく思っております。今後も、皆さんが更に充実した活動を展開できるよう、企画運営補助や会場提供などの支援を行っていきたいと考えております。</p> <p>また本市では、市民のボランティア活動を支援しているボランティアセンターの運営費に対する補助を行っております。</p> <p>ボランティアセンターにおいては、一般のボランティア団体等に対する補助は行っておりませんが、ボランティア活動を行う方とボランティアを求めている方の橋渡しや、ボランティア活動についての相談・助言、これからボランティアを始めようとする方の養成・研修など、市民のボランティア活動を支援しているところです。</p>
10	鶴垣鹿維 女性	<p>大垣の皆さんの薩摩義士への思いを知って10年以上活動している。鹿児島島の皆さんにも偉業を伝えたくて、定期清掃の際、薩摩義士碑などで紙芝居で紹介する活動にも取り組み始めた。</p> <p>この活動をひろげたいと考えているのだが、同じ思いを持つ人たちとの横のつながりが少ないと感じる。他のグループとのつながりを持つことで切磋琢磨し、新しい活動も生まれるのではないか。</p> <p>グループ同士が集まり発言し、市とも話し合える場があれば郷中教育や青少年育成にもつながり素晴らしいと思う。</p>	<p>鹿児島の未来を担う青少年育成は市政の最重要課題のひとつであると考えています。私は本年度の重点施策「5K」のひとつとして「教育」を掲げ、「新・郷中教育推進事業」などの関連事業を実施しているところです。</p> <p>お話のとおり、その団体だけの活動で終わるのではなく、同じ思いの団体との横の連携を図ることは大切であると思います。また青少年の皆さんが活動する中から生まれる企画・発想はこれからの市政にも活かしていきたいと思っておりますので、本市の青少年育成に今後ともご協力をよろしくお願いいたします。</p>	教育委員会	<p>鶴垣鹿維などの青年団体の活動を広くアピールするために、「青少年ふれあい交流事業」や「さつまっ子のつどい」等の青少年が集まる場において、発表の場を設定したり、広報啓発に更に努めたりすることが必要であると考えています。</p>

「市長とふれあいトーク」(教育) 発言に対する処理方針

日時：平成20年9月30日(火) 19:00~20:00

場所：サンエールかごしま

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
11	ジュニア リーダーク ラブ 「コアラ」 男性	<p>郷中教育のように上の者が教え、下の者が教わるという体験は重要だと思う。「コアラ」の活動には中学生よりもむしろ小学生のほうが興味を持っており、わたし自身も小学校から関心を持って「コアラ」に入ったのだが、青少年活動は中学生向けの企画が多く、小学生向けの企画は少ない。</p> <p>鹿児島には郷中教育という文化があり、活動している団体もあるのだから、小学生からこのような活動に入れる場、機会を増やしてほしい。</p>	<p>異年齢集団の中で多くの人たちが同じ活動に参加し、接する場を持つことが大事であり、そこで多くのことを学ぶのは学校で学ぶ以上に大切な面もあります。青少年の活動が広がっていくことは望ましいと考えていますので、ボランティア活動や地域のあいご会などの場を大切にしながら、活動を伸ばしていけるようご意見は関係部局に伝えていきたいと思ひます。</p>	教育委員会	<p>各あいご会や単位あいご会でそれぞれ充実した体験活動が展開されており、リーダーとしての上級生が下級生に教える機会も多いと考えられます。皆さんにはジュニアリーダークラブで培ったことを各単位あいご会等で発揮してほしいと思ひます。また、各施設等においても小学生を対象としたイベント等も実施しておりますので、積極的に参加していただきたいと思ひます。</p>